

令和4年度 田尻さくら高等学校 「志教育」年間指導計画

3つの視点		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史		○		公民		○	○	数学		○	○		
	国語を適切に表現し理解する能力の育成を通して、伝え合う力を高め、人生を豊かにする態度を養う。		わが国の歴史及び世界各国の歴史や生活、文化について理解を深め、国際社会貢献できる資質を養う。		国際社会の理解を通じ、公民的資質の基礎を養い、民主的・平和的国家の一員としての自觉を育む。		基礎・基本的な数学的思考力を身につけ、様々な事象を数学的根拠に基づいて冷静に判断できる能力を養う。											
	かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす			
	理科	○	○		保健体育	○		○	芸術	○	○		外国語	○		○		
	科学的な自然観を身につけ、自然災害や環境問題に対応できる能力と生命を尊重する態度を育成する。		主体的な学習経験の中で、心と体を一体としてとらえ、明るく豊かな活力ある生活を育む態度を育てる。		幅広い芸術的活動を通して、感性を高め、生涯にわたり芸術を愛好する豊かな情操を養う。		外国語を通して、外国の言語や文化に対する関心を深め、適切なコミュニケーション能力を養う。											
	かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす			
	家庭	○		○	情報	○	○		商業	○		○	福祉	○		○		
	家庭生活に必要な知識と理解を深め、男女が協力して主体的に生活を創造する能力を養う。		情報技術を適切に活用できる能力を養い、社会の情報化に適切に対応できる態度を育てる。		様々な商業活動の仕組みの理解を通して、職業の意義や役割を理解する能力を養う。		福祉の知識と技術の習得を通して、国民の福祉に寄与する能力と態度を育てる。											
	年次共通				かかわる	もとめる	はたす	各年次指導目標										
指導内容	① 健康に留意する				◎			1年次	・新しい環境に適応するとともに他者との望ましい人間関係を構築する ・様々な情報を収集し、自分の将来についてイメージを持つ ・新しい環境の中で自らの役割を自覚し、積極的に役割を果たす									
	② 物を大切にする					◎			・学習を通して自らの勤労観、職業観についての価値観の形成に努める ・進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、検討する									
	③ お金を大切にする				◎		○		・自己の職業的な能力適性を理解し、将来設計を図る ・自分の能力・適性を的確に判断し、卒業後の進路を決定する									
	④ あいさつをする				◎		○	2年次	・自己の職業的な能力適性を理解し、将来設計を図る ・自分の能力・適性を的確に判断し、卒業後の進路を決定する									
	⑤ 掃除に励む				○	◎			・自己の職業的な能力適性を理解し、将来設計を図る ・自分の能力・適性を的確に判断し、卒業後の進路を決定する									
	⑥ 規則を守る						◎	3年次 多年次	・自己の職業的な能力適性を理解し、将来設計を図る ・自分の能力・適性を的確に判断し、卒業後の進路を決定する									
	⑦ 危険なことをしない				◎				・自己の職業的な能力適性を理解し、将来設計を図る ・自分の能力・適性を的確に判断し、卒業後の進路を決定する									
	⑧ 時間を大切にする					◎			・自己の職業的な能力適性を理解し、将来設計を図る ・自分の能力・適性を的確に判断し、卒業後の進路を決定する									
	⑨ 学業に励む				◎													
指導内容			ねらい				指導教科等	時数	実施時期	かかわる	もとめる	はたす						
一年次	新入生オリエンテーション		高校生活のスタートにあたっての目標を立てる。				特別活動・総合探究	4	4月	◎		○						
	校外学習(加護坊山探検)		集団生活への適応を図り、他者への理解と自らの役割を自覚する。				年次行事	3	4月	○		○						
	コミュニケーション基礎		自己の在り方、他者との関わりのあり方を探求する。				総合探究	5	4月～5月	◎	○							
	生活体験校内発表会		他者の体験発表を通して、自分の価値観の形成に役立てる。				特別活動	2	7月	○	○	○						
	保健講話		心と体の健康について理解を深め、自らの健康について考える。				特別活動	2	7月	○	○	○						
	進路別見学会		進路希望別に分かれて学校・施設を見学し、進路学習に取り組む。				総合探究	3	9月	○	○	○						
	さくら高祭		個人及び集団で、日頃の学習活動の総合的発表を取り組む。				特別活動	3	10月	◎	○	○						
	職業理解		職業を知り、働くとは何か考える。				総合探究	3	11月	○	○	○						
	進路決定者の話を聞く会		先輩の経験談を聞き、自分の進路の参考にする。				総合探究	2	12月	○	○	○						
	卒業生の話を聞く会		先輩の経験談を聞き、自分の進路の参考にする。				総合探究	2	1月	○	○	○						
	トライアル・セミナー		複数の講座で社会人の話を聞き、将来の生き方を探求する。				特別活動	3	3月	○	○	○						
	進路を探る		進路希望別に分かれて進路の知識を深める。				総合探究	17	通年	○	○	○						
	大掃除		学校や地域という社会の中での役割を果たし、その一員としての自覚を養う。				特別活動	4	通年	○		○						
二年次	二年次オリエンテーション		昨年度の学習状況・学校生活を振り返り、今年度の目標を立てる。				特別活動・総合探究	3	4月	◎		○						
	コミュニケーション基礎		自己の在り方、他者との関わりのあり方を探求する。				総合探究	1	4月	◎	○							
	校外学習		集団生活を通して、他者への理解と自らの役割を自覚する。				年次行事	3	4月	○	○	○						
	生活体験校内発表会		他者の体験発表を通して、自分の価値観の形成に役立てる。				特別活動	2	7月	○	○	○						
	保健講話		心と体の健康について理解を深め、自らの健康について考える。				特別活動	2	7月	○	○	○						
	福祉講話		福祉全般に対する理解と行動力を高め、将来生活に役立てる。				特別活動	2	8月	○	○	○						
	さくら高祭		個人及び集団で、日頃の学習活動の総合的発表を取り組む。				特別活動	3	10月	◎	○	○						
	模擬応募活動		進路決定までの活動を体験し自己実現の一助とする。				総合探究	8	10月～1月	○	○	○						
	進路決定者の話を聞く会		先輩の経験談を聞き、自分の進路の参考にする。				総合探究	2	12月	○	○	○						
	卒業生の話を聞く会		先輩の経験談を聞き、自分の進路の参考にする。				総合探究	2	1月	○	○	○						
三年次	進路を探る		進路希望別に分かれて進路の知識を深める。				総合探究	3	1月～2月	○	○	○						
	トライアル・セミナー		複数の講座で社会人の話を聞き、将来の生き方を探求する。				特別活動	6	3月	○	○	○						
	ソーシャルスキルトレーニング		ロールプレイにより対人関係能力などを養う。				総合探究	10	通年	◎	○							
	大掃除		学校や地域という社会の中での役割を果たし、その一員としての自覚を養う。				特別活動	4	通年	○		○						
	三多年次オリエンテーション		昨年度の学習状況・学校生活を振り返り、今年度の目標を立てる。				特別活動・総合学習	3	4月	◎		○						
	コミュニケーション基礎		自己の在り方、他者との関わりのあり方を探求する。				総合探究	2	4月	◎	○							
	生活体験校内発表会		他者の体験発表を通して、自分の価値観の形成に役立てる。				特別活動	2	6月	○	○	○						
	保健講話		心と体の健康について理解を深め、自らの健康について考える。				特別活動	2	7月	○	○	○						
	さくら高祭		個人及び集団で、日頃の学習活動の総合的発表を取り組む。				特別活動	3	10月	◎	○	○						
	進路学習のまとめ		在校生対象の進路学習発表会に向け進路学習のまとめをする。				総合探究	4	10月～11月	○	○	○						
多年次	年金セミナー		年金制度に关心を持ち、保険料の仕組みや制度について理解を深める。				特別活動	2	1月	○	○	○						
	課題研究		学校や地域などの身近な問題から奉仕の心を学び課題解決の精神を育成する。				総合探究	11	12月～2月	○	○	○						
	進路探究		進路活動を通じ生き方を模索し勤労観や職業観を育成する。				総合探究	13	通年	○	○	○						
	大掃除		学校や地域という社会の中での役割を果たし、その一員としての自覚を養う。				特別活動	4	通年	○		○						
	合計時数													150				